

# 夢を紡ぎて

上田市立長小学校  
学校だより  
令和4年10月5日

校長講話～今年の11月20日で149歳になります。誰のことだかわかりますか？～



正解は、「長小学校」です。

校長先生より長小学校の歴史についてお話しいただきました。

明治6年に「養生学校」としてスタートし、翌年「成始学校」同じ年に「水哉（すいさい）学校」と名前を変え「水哉学校」という名前は、古代中国の思想家 孟子の言葉から引用されたもので、源泉は混混としてやむことがないから 長小学校がますます充実発展することへの願いが込められている。

今でも、長小学校は、この時の地域の願いを脈々と受け継いでいる。」ということをお話いただきました。校内にも、様々な場所にそのことを表すものが飾られています。その後も何度か名前を変え、昭和22年に「長小学校」という名前になったそうです。

そして、校長室に保管されている昔の写真をたくさん紹介していただきました。その写真からも、149年という歴史の重みを感じることができました。

最後に、校長先生から

「長小学校が生まれてから、149年。今の校舎になってから41年が経ちました。その間にとても多くの皆さんが、学び、遊び、そして生活してきました。

今、長小学校に通っている皆さん、今までの伝統や地域の皆さんの願いを大切にしながら、新たな長小学校の1ページを開いていきましょう。」

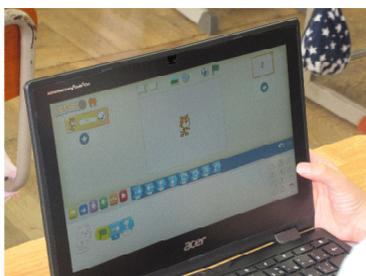
というお話がありました。

いよいよ来年、長小学校は150周年を迎えます。150周年に向けて、準備委員会も立ち上がり、来年に向けて準備を進めています。これまでの伝統や地域の皆さんの願いを大切にしながら、新たな一歩を踏み出していければと思います。

## プログラミング教育

2020年度より小学校では、プログラミング教育がスタートしました。本校でも、ICT支援員の望月さんが毎週木曜日に来て、サポートをいただいています。各学年に応じた学習内容で、プログラミング教育にも取り組んでいます。

現在、3年生では「スクラッチ・ジュニア」というソフトを使ってプログラミングの学習をしています。望月さんとスクールICTスタッフの中村さんにも指導をいただきながら、実際に自分でプログラミングをし、キャラクターを動かすという学習をしています。



実際にキャラクターが自分の指示したとおりに動くと「動いた！」「すごい！」という声が教室のあちこちから聞こえてきました。

キャラクターが左右に動くのが基本ですが、背景を工夫したり、回転や上下の動きを取り入れたりしている子もいて、あっという間に作品を作っています。子どもたちは、毎時間集中して取り組んでいます。

今後も、他の学年でもそれぞれの学年に対応したソフトを活用して、プログラミングの学習を進めていく予定です。

## 学校行事・学年行事

9月中旬より新型コロナウイルス感染警戒レベルが下がり、予定通り学校行事や学年行事を行うことができるようになりつつあります。子どもたちの笑顔もさらに輝くようになりました。

案内を配布させていただきましたが、26日(水)には、音楽会を予定しています。今年の音楽会は、感染対策をとりながら各学年合唱と合奏に取り組みます。音楽会に向けての練習も各学年少しずつ力が入ってきています。音楽の時間はもちろんですが、休み時間にも音楽室からは、合奏の練習をしている楽器の音色が職員室にも聞こえてきます。

今年こそは、全校揃っての音楽会ができるように感染対策を十分にとりながら、準備を進めていきたいと思えます。

### 2年生 バス乗車体験(9/16)

16日(金)に、真田自治センター建設課と上田バスの取り組みの一環で今年度初めての試みであるバスの乗車体験を行いました。実際に走っている路線バスが学校に来て、路線バスの乗り方について説明をしてくださいました。

その後、実際に乗車券を一人一人が取り、乗車をしたら長地域を路線バス体験乗車しました。

最後のまとめの会では、児童の質問から「車いすの方がバスに乗るときには、ステップを出して車いすに乗ったまま乗車できる。」ことも教えていただきました。

この成果を、22日(木)の乗り物遠足に活かすことができました。



### 《PTA ボランティア校庭除草作業ありがとうございました》

24日(土)のPTA ボランティア校庭除草作業には、足下の悪い中ご参加いただきありがとうございました。お陰様で、トラック周辺がきれいになりました。

子どもたちは、さっそくきれいになったトラックを、14日(金)に行われるマラソン大会に向けて、朝や休み時間を使って走っています。

お忙しい中、きれいにしていただきありがとうございました。



### 《見守り隊について》

長っ子見守り隊真田地区の坂口勇様が、9月をもちましてボランティアをおやめになることになりました。8年間見守り隊として、子どもたちの日々の安全のためにご尽力いただきました。「子ども達から、たくさんのパワーをもらいました。」という嬉しい言葉をいただきました。長い間ありがとうございました。

見守り隊としてボランティア活動をしていただける方がいましたら、学校まで連絡をいただければと思います。

### 【連絡】 ★修学旅行延期に伴う日程について

○11月21日(月)～22日(火) 修学旅行(愛知方面)

○11月24日(木) 中学校体験入学(予定通り)

○11月25日(金) 6年 計画休業

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果報告

### 1. 学力調査の結果について

(国語)

- ・正答率の傾向は全国や県をやや上回っています。
- ・指導要領の領域では「読むこと」での正答率は高く、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」での正答率が低い結果となっています。



#### 【比較的できていると捉えられるもの】

- ・物語を読み、登場人物の気持ちや相互関係に着目して、物語の全体像を想像したり表現の効果を考えたりすることができる。⇒複数の叙述を考える力がある
- ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができる。⇒筆順に従って丁寧に書くことや、漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと等が大切です。日常的に実践していけるとより効果が高まります。

#### 【課題があると捉えられるもの】

- ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができる。⇒今問われていることは何か、情報を整理しながらまとめる力を高められる問題に挑戦していきます。
- ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。⇒3つの条件を満たして解答するような問題を解く中で、力を高めていきます。

(算数)

- ・正答率の傾向は全国や県を下回っています。
- ・指導要領の領域では「図形」「変化と関係」での正答率は高く、「数と計算」「データの活用」での正答率が低い結果となっています。

#### 【比較的できていると捉えられるもの】

- ・伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを式やことばを用いて記述できる。⇒どこに着目すれば良いのか、といった見方をこれからも磨いていきます。
- ・図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している。⇒基礎的な知識の定着が図られていることが分かります。

#### 【課題があると捉えられるもの】

- ・日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフを読み取り、データの特徴や傾向を捉え考察できる⇒どのように立式すれば良いのか吟味する力と、見た目判断ではなく、表に印を入れる等の工夫をする必要があります。より丁寧に問題と向き合えるようにしていきます。

(理科)

- ・正答率の傾向は全国や県をやや下回っています。
- ・指導要領の領域では「エネルギー」「粒子」「地球」を柱とする領域での正答率は高く、「生命」を柱とする領域での正答率が低い結果となっています。

### 【比較的できていると捉えられるもの】

- ・メスシリンダーという器具を理解しているか⇒日頃から語句の定着に力を入れていることが考えられます。引き続き、知識の定着を欠かすことのないようにしていきます。
- ・自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる⇒結果が出て終わりではなく、「こうなったらどうなるのだ？」と、自ら問いを見付け、予想や仮説を発想し、それに基づいて解決の方法を発想し、観察や実験等を行っている日常の成果が出ていると言えます。

### 【課題があると捉えられるもの】

- ・問題に対するまとめを導き出すことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している⇒今問われていることを聞き落とさない、見落とさないことを意識しながら日頃の授業に臨むことを大切にします。
- ・予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる⇒自分だけの考えに満足するのではなく、友だちの考えから学ぶ姿勢を大事にし、「なぜ〇〇さんはそう考えるのか」といった視野を広げた授業参加を続けていきます。

## 2. 「児童質問用紙」から見えてくる6年生の特徴

### 【割合が高いと捉えられるもの】

- ・質問事項(1)朝食を毎日食べていますか⇒心身の発達を支える朝食を、引き続き採り続けられるよう学校の授業とも連携して意識をさらに高めていきたいと思えます。
- ・質問事項(8)先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思えますか⇒今後も、子どもたちのよさを認めながら、温かい学校・学級作りをおこなっていききたいと思えます。
- ・質問事項(29)今住んでいる地域の行事に参加していますか⇒長地区の子どもたちが地域と共に在る生活を送っていることは素晴らしいことです。

### 【割合が低いと捉えられるもの】

- ・質問事項(30)地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか⇒地域の行事に対して、参加から参画へと気持ちを切り替えていく必要があるということが言えます。
- ・質問(6)普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴等をしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)⇒「1時間以上」を超える使用に着目すると、クラスに半分の子どもが該当していることが分かります。使用頻度や使用時間を学校や家庭で今一度確認し、今後の成長にとって悪影響を及ぼすことがないように今から手を打ちたいです。